**【熱中症による健康障害発生時の対応】**

**「参　考」**

**＊建設業労働災害防止協会栃木県支部＊**

 状況

　　　　　　　　判断

　　　　　　　実施事項

**【報告先】**

（責任者）　●●●●

　℡　××-××××-××××

（代　理）　●●●●

 ℡　××-××××-××××

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗

痙攣等

【自覚症状】

めまい　筋肉痛・筋肉の硬直(こむら返り)

頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等

**熱中症のおそれのある者を発見**

**【医療機関】**

**●●病院**

**℡　××-××××-××××**

**宇都宮市●●町●●●**

**作業離脱、身体冷却**

「意識の有無」だけで判断するのではなく①返事がおかしい

②ボーっとしているなど

普段と様子がおかしい場合も異常等ありとして取り扱うことが適当

判断に迷う場合は、安易な判断は避け、

**♯7119**等を活用するなど

専門機関や医療機関に相談し、専門家の指示を仰ぐこと

 **意識の異常**

**異常等あり　　　　　　　　　　異常等なし**

**救急隊要請**

 **自力での水分摂取　　　できる**

※医療機関までの搬送の間や経過観察中は、**1人にしない**

単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する

**できない**

**医療機関へ搬送**

**経過観察**

**回復しない、症状悪化**

**回　復　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　回　復**

**＊　回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、本人に十分周知する。**

**なお、必要に応じ、帰宅後、体調に急変がないか、様子を伺うための連絡を取る。**